



「暑さ対策」中学校委員会活動支援事業報告書

兼「暑さ対策」地域へ発信！中学生サポーター事業に係る報告書兼涼くまグランプリ応募用紙

<p>学校名</p>	<p>熊谷市立別府中学校</p>	<p>担当教諭・連絡先</p>	
<p>1 活動の概要 (実施した活動の概要を委員会別に記入して下さい。)</p>	<p>○熱中症予防のための「標語」と「イラスト」を組み合わせたシールを作成し、ポケットティッシュに貼り付け、家族や地域の支援者に配布する。</p> <p>1) 別府中学校の全校生徒が自宅に持ち帰り、家族や祖父母に渡す。</p> <p>2) 朝の登校指導をしてくださる学校応援団の方々に配布する。</p> <p>3) 熊谷市内の公共施設や別府地区内の医療機関等に、利用者が自由に持ち帰ることができるティッシュコーナーの設置を依頼する。</p> <p>4) 校長室に来校される学校の支援者の方々に差し上げる。</p> <p>5) 体育祭の受付にて保護者や地域の支援者に配布する。</p> <p>○ポスター掲示と地域の回覧板の利用による啓発活動を行う。</p> <p>○熱中症指数モニター「みはりん坊」と記録ファイルを部活動ごとに携帯し、計測・記録とともに休憩と水分補給をする。</p> <p>○全学級と特別教室に温湿度計を設置し、保健委員が気温と湿度を確認し、クーラーの使用開始作業及び換気を行う。</p> <p>○各種委員会の活動場所に扇風機を設置する。※新設1部屋(壁掛け4機)と修理3機</p>		
<p>2 活動の様子や成果、工夫した点</p>	<p>1. 熱中症予防標語の作成と配布用ポケットティッシュの準備</p> <p>① 6月21日(月)学級活動 養護教諭による熱中症予防に関する保健指導と暑さ対策事業の説明を保健委員が行った後、全員が熱中症予防標語を作成した。</p> <p><選出作品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症 予防のためには 水分補給／マスクをとって 深呼吸 ・ 暑い日は 片手に水筒 忘れずに／無理せず休憩 水分補給 ・ 暑い日は 我慢しないでクーラーを／室内も 油断大敵 熱中症 ・ まだ大丈夫！！ その考えは 命とり／違和感あったら すぐ休憩 <p>② 美術部の3名が熱中症予防イラストを作成した。</p> <p>③ 6月29日(火)総合的な学習の時間 選出された標語とイラストを組み合わせ制作したシールを千個のポケットティッシュに貼る作業を全員で行う。その後、ティッシュを置いてもらう施設についての話し合い活動を行う。</p> <p>【活動の様子や成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健委員が事前準備を行い、作業説明を担当した。また、生徒全員が作業に携わることで、3学年全体の活動であるという意識付けができた。 <p>【工夫した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度、好評だったため今年度は個数を千個に倍増した。また、埼北よみうり新聞社の取材依頼が入り、効果的な広報活動ができた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="842 1787 1150 2033" style="text-align: center;">  <p>埼北よみうり新聞への掲</p> </div> <div data-bbox="1150 1787 1520 2033" style="text-align: center;">  <p>シールを貼る作業</p> </div> </div>		

2. 熱中症予防ポケットティッシュと啓発ポスターの配布

- ①7月上旬、別府中学校の生徒が自宅に持ち帰り、家族や祖父母に渡す。
- ②登校指導をしてくださる学校応援団の方々に配布する。【7月7日(水)朝】
別府地区内の数か所で朝の登校指導をしてくださっている方々が、朝8時に校門に集まる時間帯に、保健委員が日頃の感謝と熱中症予防を伝えながらポケットティッシュ等を手渡す。
- ③熊谷市内の公共施設や別府地区内の医療機関等に、自由に持ち帰ることができるティッシュコーナーの設置を依頼しティッシュを届ける。
施設を利用する地域の方がティッシュを自由に持ち帰ることができるよう説明文と啓発ポスターを添えて準備する。【7月13日(月)放課後】
- ④校長室に来校される学校の支援者の方々に差し上げる。
- ⑤体育祭の受付にて保護者や地域の支援者に差し上げる。



別府公民館

J A熊谷
別府支店

【活動の様子や成果】

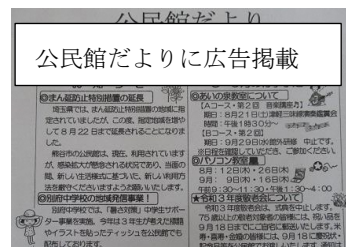
- ・7月7日(水)の登校時間に登校指導をして下さる学校応援団の方々に、保健委員が日頃の感謝を伝え、塩分タブレット・汗拭きタオル・ポケットティッシュの一式を手渡した。
- ・7月13日(火)の放課後、熊谷市内の公共施設や別府地区内の医療機関の計9か所(熊谷市教育委員会学校教育課・くまぴあ・別府公民館・J A熊谷別府支店・籠原郵便局・酒巻クリニック・小沼歯科医院・中島医院・はぎわら眼科)を訪問し、熱中症予防ティッシュを置かせていただいた。



学校応援団の方々



はぎわら眼科



公民館だより広告掲載



小沼歯科医院

【工夫した点】

- ・保健委員7名が仕事上の皆さまの迷惑にならないよう、短時間で簡潔にサポーター事業の説明をするため、事前に渡し方の練習をした。自分たちが生まれ育った地域と見守ってくださる方々への感謝をこめて、ティッシュを置いていただけるようお願いすることを意識し活動した。また、ポスター掲示により配布場所を目立たせる工夫をした。別府公民館では、8月の公民館だよりで啓発をしてくださり、本活動に対する地域の方々の協力にも感謝する。

3 今後の課題

今年度も感染症対策として、人が多く集まる場所で啓発活動は行わなかったが、依頼をする施設を増やしたり、「公民館だより」や「埼玉よみうり新聞」に掲載していただくことで、啓発の機会を増やすことができた。また、生徒の話し合い活動の中から発案された「地域の回覧板を利用する」案を採用し、学校だよりとともに8月の回覧板にて地域に回覧していただいた。活動に制約のある中でも、直接、施設に足を運ぶことや発信方法を工夫することで、啓発活動の幅を広げることができた。来年度以降も、学年職員と養護教諭(保健主事)が連携し、学年・学校・地域の取組として、熱中症予防活動に積極的に取り組んでいきたい。